

県政の動き

4月11日(水)～6月10日(日)

4月17日(火)

★九州・山口の近代化産業遺産群「世界遺産登録推進協議会による政府等への要望活動」

4月19日(木)

県高規格幹線道路建設促進協議会総会

4月26日(木)

県立鹿児島高等特別支援学校開校記念式典

4月28日(土)～29日(日)

★元気もりもり!!畜産フェア

4月29日(日)

みどりの感謝祭

5月8日(火)

土砂災害防止の集い2012

5月12日(土)

三看護の日記念式典

5月12日(土)～13日(日)

平成新茶まつり

5月14日(月)～18日(金)・26日(土)・27日(日)

水俣病被害者救済特別措置法に基づく給付申請に関する説明会

5月17日(木)

県企業誘致推進協議会

5月18日(金)

★H-IIAロケット21号機打ち上げ

5月18日(金)

★未成年者飲酒防止・飲酒運転撲滅キャンペーン

5月20日(日)

★第6回県障害者スポーツ大会

5月21日(月)

★犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議

5月24日(木)

★シンポジウムで知事と語る会

5月25日(金)・26日(土)

★県総合防災訓練・県下一斉防災点検

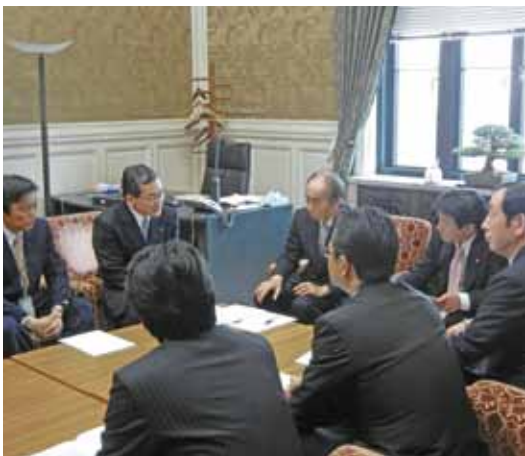
6月2日(土)～3日(日)

かごしま産業おごし郷中塾

★は写真入りで紹介

4月17日(火)

「九州・山口の近代化産業遺産群」 世界遺産登録推進協議会による政府等への要望活動



「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会(会長・鹿児島県知事)は、民間企業等が所有し、現在も活用されている稼働資産等の世界遺産登録に向けて、国がユネスコに推薦する場合の新たな枠組みを早期に閣議決定するよう、国や民主党に要望活動を実施した。

当日は、伊藤会長をはじめ関係自治体の知事・市長等が、直接、藤村内閣官房長官や輿石民主党幹事長などに要望し、「協力する」という趣旨の回答があった。こうした取り組みもあり、去る5月25日には、稼働中の産業遺産等の世界遺産登録に関する新たな枠組みが閣議決定された。

これにより、本県の集成館を含む近代化産業遺産群の世界遺産登録の実現にはずみがつくものと期待される。



4月28日(土)～29日(日)

元気もりもり!!畜産フェア



県産畜産物のPRと消費拡大を目的に、「元気もりもり!!畜産フェア」を鹿児島市のドルフィンポートにおいて開催した(主催:かごしま畜産の日実行委員会)。

同実行委員会では、毎月29日(2月は9日)の「にく(29)の日」を「かごしま畜産の日」と位置付け、畜産農家へ畜舎消毒の徹底を呼びかけるとともに、消費者向けに畜産物の安心・安全PRイベントを年に数回開催している。

会場では、本県が誇る畜産物の試食販売のほか、畜産について学べるパネルを展示。また、畜産応援隊のキャラクター「黒牛くん」たちから、来場した子どもたちへの畜産PR資料や風船のプレゼントもあり、多くの県民の方方で盛況だった。



H-IIAロケット21号機打ち上げ



三菱重工株式会社および独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、5月18日午前1時39分、南種子町の種子島宇宙センターから、H-IIAロケット21号機の打ち上げを実施した。

今回の打ち上げでは、第一期水循環変動観測衛星「しずく」および海外から初めて受注した韓国の多目的実用衛星を所定の軌道に投入したほか、小型副衛星2機も計画どおり分離した。

今年度、種子島宇宙センターでは、7月21日に宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機(HTV-3)を搭載したH-IIAロケット3号機の打ち上げを、さらに、内之浦宇宙空間観測所では、7月10日に観測ロケットS-310-41号機の打ち上げを予定している。

未成年者飲酒防止・飲酒運転撲滅キャンペーン



未成年者の飲酒問題や飲酒運転による重大な交通事故が大きな社会問題となっている中、これらの防止・撲滅に向けて、県内の焼酎メーカーや卸売業、小売業など酒類に関わる業界が連携し、街頭キャンペーンが開催された。

これは、業界が自主的に実施しているもので、今年度で5回目。約1000人の関係者が参加し、鹿児島中央駅付近や天文館でキャンペーンチラシ等を配布するとともに、鹿児島中央駅から天文館までパレードを行い、県民に未成年者飲酒防止・飲酒運転撲滅を強く訴えた。

第6回 県障害者スポーツ大会



県立鴨池陸上競技場、ハートピアかごしまなど4会場において、第6回鹿児島県障害者スポーツ大会が開催された。

開会式では、大会会長の伊藤知事が「この練習の成果を存分に発揮されることにも、大会を通じてお互いの交流の輪がさらに広がることを期待します」と選手を激励した。

大会には、県内各地からさまざまな障害のある選手約1000人が参加。陸上、水泳、卓球、アーチェリーなど7つの競技で熱戦を繰り広げた。

なお、この大会は、本年10月13日から15日にかけて岐阜県で開催される第12回全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねて行われた。



犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議

日本一犯罪の少ない鹿児島を目指して、行政、警察、事業者など53団体で構成する「鹿児島県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民会議」(会長・伊藤知事)が開催された。

会議では、杉山県警察本部長による治安情勢説明が行われた後、「県民の身近で発生する犯罪被害の防止」、「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺被害の防止」、「子どもと女性の犯罪被害の防止」を運動の重点とする「県民の総力をあげて犯罪をなくす県民運動実施要綱」などについて協議がなされた。



シンポジウムで知事と語る会

5月の「県民防災週間」に合わせ、「地震・津波、火山災害への備え」をテーマに、伊藤知事が県民と語り合う「シンポジウムで知事と語る会」を県庁で開催。県民や防災関係者など約450人が参加した。

会では、海洋研究開発機構の金田義行氏から「海溝型地震の研究成果と地震・津波対策」と題した基調報告が行われた後、知事がコーディネーターとなり、防災の専門家や防災に取り組んでいる方など5人のパネリストとのディスカッションや参加者との意見交換が行われた。

パネリストから防災対策の現状や課題、災害への備えなどが紹介され、参加者は真剣な表情で聞き入っていた。



県総合防災訓練・県下一斉防災点検

鹿児島湾直下を震源とする火山性地震や、それに伴い発生する津波、爆発的噴火による火砕流や噴石などに加え、大雨による土砂崩れへの警戒を想定した「鹿児島県総合防災訓練」を垂水市と共催で実施した。

25日には、市民への防災啓発訓練、26日には、防災関係機関、福祉施設、保育園などの61団体、約1500人が参加した防災訓練を実施。訓練では、海岸地域に住む市民へのコミュニケーションを活用した情報伝達や、災害時要援護者などの高い場所への避難訓練、孤立した市民をホバークラフトで救出する訓練などが行われた。

また、訓練終了後、伊藤知事を班長として鹿屋市・垂水市の災害危険箇所での防災点検を実施した。

